

《履修上の留意事項》3年次までに修得した知識および技能をしっかりと復習しておくこと。
開講日に関しては後日連絡する。

《担当者名》 小島悟 泉唯史 鈴木英樹 吉田晋 高橋尚明 武田涼子 長谷川純子 佐々木祐二 澤田篤史 大須田祐亮
鈴木伸弥 中村宅雄 山根裕司 佐藤一成 岩部達也 多田菊代

【概要】

3年次後期に実施される臨床実習（総合臨床実習）に臨むにあたり、これまで習得した知識を整理し、技能の向上および患者とのコミュニケーション、知識の具現化を図る。なお、演習では、学内において臨床現場を想定し、理学療法に関わる一連の臨床技能について客観的臨床能力試験（以下、OSCE）を実施する。

【学修目標】

これまで学内で修得してきた知識ならびに技術の総まとめを行うとともに、臨床に即した医療面接や評価、治療の応用について学び、3年次後期の臨床実習、4年次前期の臨床実習を円滑に実施できるようになる。

1. 3年次までに修得した知識の整理が出来ている。
2. 実施する評価および治療内容を、対象者に説明できる。
3. 指導者の指導・監視の下に必要な評価、治療を実施できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義計画の概要及びOSCEについての説明。	小島悟 鈴木伸弥 山根裕司 佐藤一成
2) 10	疾患別患者の評価・治療手技及び介助演習	3年次までに習得した理学療法評価・治療手技及び介助手技について知識と技能の確認を行う。	吉田晋 武田涼子 小島悟 佐々木祐二 澤田篤史 大須田祐亮 鈴木伸弥 山根裕司 佐藤一成 岩部達也 多田菊代
11) 12	プレOSCE	模擬患者に対して理学療法評価・治療手技及び介助手技を用いた総合的な演習を行う。	全教員
13) 14	OSCE	学内において臨床現場を想定し、OSCEを行う。	全教員
15	OSCE振り返り	OSCE実施後、フィードバックを行い、それぞれ不足している部分に対して再度演習を行い、臨床実習に備える。	全教員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

OSCE 40%

知識確認テスト 40%

授業への取り組み態度・課題提出 20%

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

3年次の各授業科目において指定された教科書を使用する。

【学修の準備】

予習は、3年生後期までの関連科目の教科書および配付資料を復習し、実技が行えるよう理解しておくこと。(80分)

復習は、授業内容に関する実技練習を行うこと。(80分)

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP1)人は人の中でこそ人として生きていけます。お互いがお互いの命や生きることの意味を大切に思える心と感性、そのために必要な幅広い教養、そしてそれを対象者と共有することのできるコミュニケーションを身につけます。

【実務経験】

小島悟 泉唯史 鈴木英樹 吉田晋 高橋尚明 武田涼子 長谷川純子 佐々木祐二 澤田篤史 大須田祐亮 鈴木伸弥 中村宅雄 山根裕司 佐藤一成 岩部達也 多田菊代(理学療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を生かし、理学療法評価・治療手技および介助手技に関する基本的実技を講義する。